

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における 聖火リレーのルート等に関する意見書

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における聖火リレーの日数については、組織委員会に対して東京都の積極的な働きかけもあり、都の割り当ては当初予定の10日間から15日間に拡大されたことは、23区にとって大変喜ばしいことです。また、聖火ルートについて、小池都知事が都内全区市町村での巡回に意欲を示していることも大変評価できるところです。

23区では現在、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、都と協力しながら様々な事業やイベントを展開し、地域の気運醸成に努めているところです。今回、聖火ランナーが各区内を走ることは、こうした気運醸成への取り組みの集大成となるだけでなく、本区の魅力を国内外へ発信させることができる絶好の機会であり、観光客の増加など多大な波及効果も期待できます。

よって江戸川区議会は、東京都に対し下記の事項を強く要望します。

記

- 1 聖火リレーの都内ルートについては、23区すべてを通るルートとすること。
- 2 各区内における聖火リレーのルート選定やランナーの人選については、23区それぞれの特色を踏まえるなど、各区と事前に調整を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成30年7月4日

江戸川区議会議長 藤澤進一

東京都知事 あて